Vol.23 No.1 Oct.2012

Council No.8 Japan Region

Newsletter

今期のテーマ

International: **あなた自らが変化の主体に**

"BE THE CHANGE"

Japan Region: **失敗から学ぶ**

"Develop Success form Failures"

Council No.8: **今、ここに心を込めて**

"Focus on the Here and Now"

会長挨拶

ＩＴＣの魅力は何ですか。私には知恵と力を持つ会員達が発揮するエネルギーです。日頃積み重ねている訓練、実はこれは、今、世の中が色々な場面で必要としている正にそのものです。凡そ 20 年前の「テイクファイブ」の標語を記憶の方もおられるでしょう。最近の「エレベータートーク」に近いもので、1 日 5 分、ＩＴＣをあなたの周りに知らせるために使いましょうというものでした。私は、空の雲を見上げ（この時間が大好きです）湧いたイメージを行動に移します。例えば暫くご無沙汰の友人に連絡し、例会にお招きします。もしその月は無理でも次に繋がります。今日、私の出来る事は小さくても先ずやってみます。今期、是非一人をお誘いするところから始めましょう。私は創立者の月、10 月の東葛クラブを皮切りに全クラブ訪問を致します。29 日のカウンスル例会は、折角の機会ですから寧ろ自分のクラブでかたまるのではなく、他クラブの会員に声をかけ、交流の場として下さい。6 月にはリージョン大会で全国からの会員をお迎えするカウンスルです。着々と準備を進めつつＩＴＣを楽しみましょう。

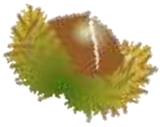
第 23 期カウンスル No.8 会長

柴田　ひさ

役員紹介

第 23 期カウンスル No.8

今期役員の皆様に、A ご趣味、B ITC を長く続ける秘訣、C 心に残るプログラム　についてお伺いいたしました。皆さんそれぞれにお人柄表れる楽しいお答えを頂戴できました。



会長　柴田 ひさ

A:小学校で始めたバレエを殆ど休まず続けています。出産と授乳の時期を除いて。週に 2～3 回です。今年は小さな発表会で踊ります。B:先ず参加して楽しむ。他では得難い評価の機会を自分の必要に応じて活用する。C:クラブでやった諺ゲームで日英の表現の類似性と相違点の表現を味わいつつ楽しみました。

第 1 副会長　八尾 和子

A:特にこれというものはないのですが、強いて挙げれば「ぼーっと海を眺めていること」B:無理をせずマイペースで少し上を目指して新しいことに挑戦すること。C:英及び日、新旧訳の「ロミオとジュリエット」上演。

第 2 副会長　木村 由利子

A:音楽鑑賞。中国の楽器、二胡奏者、チェンミンの奏でる、哀愁をおびた心揺さぶる音色に癒されます。B:共に学べる仲間がいることで、励まされる。苦しい時もあるが気負わずに続けていくこと。C:「アーネスティン・ホワイトとその仲間達」を演じたこと。

会計　浅井 正子

A:旅行、オペラ鑑賞、音楽鑑賞など。特に最近は、始めて間もないヴァイオリンを弾くことに熱中しています。B:例会、会合でのお人との出会い、また会に出席するたび何かしら新しいことが学べるのを楽しみに続けています。C:「ワークショップと落語」

書記　佐山 純子

A:年賀状のご挨拶は印刷しても宛名書きは筆で書くこと。小学生時代から続行中。B:健康管理。役職、プログラムの役割を楽しむこと。C:第 22 期第 1 回会合「ワークショップと落語」。充実した内容と楽しませるための行き届いた配慮が見事でした。

議会法規　和田 千草

A:ビーズアクセサリー作り。お友達から習っています。作品が増えていくのが嬉しいです。B:素敵なメンバーに恵まれること。無理をしないこと。C:スイーツカフェ。各々がスイーツを作ってきて試食。誰が作ったか当てて、その後レシピを交換。PL のカフェのメイドさん姿が可愛かったです。

第 23 期カウンスル No.8 クラブ運営研修会　報告

By Miho Matsuoka

日時：2012 年 8 月 6 日(月)13:00〜15:00

会場：東京ウィメンズプラザ　第一会議室

例年以上の猛暑にも負けず、東京表参道の会場には、50 名弱の会員が一同に会し、八尾和子第一副会長の開会宣言を合図に、さわやかなスタートを切りました。最初に、紺地に緑のトンボ模様の浴衣姿で和風クールビズを決められた柴田ひさ会長よりご挨拶があり、そして、八尾第一副会長からのアジェンダ説明と続きました。

部門毎の研修は、真剣な中にも、時折笑い声が聞こえる和やかな雰囲気で、大変充実したものでした。

部門別研修後の各リーダーからの発表と質疑応答について、私見を交えて以下にご報告いたします。

派遣員　会合報告はカウンスル会合を欠席した会員にも良くわかるよう、５～６分かけて丁寧に行う。（最近でこそ、カウンスルの面白さを伝えたいと思うようになったものの、最初のころは 1 分そこそこの派遣員報告がやっとだった私は、深く恥じ入り反省。）

議会法規　公正であること、自分の勉強になること。（リーダー和田さんの、初々しさの中にも小林令 2 世の風格を感じさせる見事な出来栄えに ITC の明るい未来を感じました。）

スピーチコンテスト　ネイティヴのジャッジは必須ではない。（これは初耳で目から鱗。）3 名以上の出場者でスピーチコンテストが成立、2 名ではデモンストレーションになる。計時用品、音の出ないストップウォッチも、ステージ上に持って行って良いことに。（嬉しいかぎり。）

第一副会長　最近は準備に時間のかからないプログラムが増えている。（リーダー八尾さんの巧みな進行、東京クラブ岩佐さんのエバリュエーション説明、各クラブのプログラム紹介等、充実した内容で、あっという間に時間が過ぎました。）

第二副会長　新規会員獲得のために、地元の報道機関の利用、ホームページの効果、公共施設にクラブリーフレットを置くことが効果的である。

会計　各レベルでクラブを有資格にしておくことが大事。クラブの毎月の出納を正確迅速に記録する。会員の物品購入の手助けをする。来期の会費の徴収。近年会計は、上部レベルへの連絡の仕事が複雑さを増しているので、会計以外の役員のチェックを求めることが重要である。（会計だけは避けてきた私は、この言葉に、担当者に対する尊敬の念を一層深くしました。）

書記　議事法や会則と仲良くして正確な議事録を作る。（爽やかなピンクと白のお衣装がとてもよくお似合いの佐山純子さんに見取れてしまい、これ以外のことは頭に入りませんでした。）

会長　他の部門に代理で出席しているクラブ会長がいるため、クラブ会長は 4 名の出席であったが、どの方もベテランでクラブ会員のことを真剣に考えていらっしゃる。IT の活用とリスクについて話し合った。周年行事が横浜クラブ 11/17、彩玉クラブ 12/19 で計画中。

質疑応答

Q：リージョンウェブサイトにアクセス出来なかった。（但し、10 月現在アクセス可。）

A:リージョンウェブサイトの容量拡大に伴い、ホームページを改修中。近日中にカウンスル宛モデルフォーマットを送付の予定。

Q:派遣員の急な欠席の場合どうすれば良いか？

A:会長は派遣員代理のフォームを何時も持参しておけばその場で記入して出席会員の誰かが代理を務めることができる。

Q:PREM 委員会を各クラブにつくってはどうか？

A:必要なクラブは作ればよい。無くてもよいクラブは作らなくてもよい。専任の委員会がクラブ内にある方が会員が増える。名前がどうであれ目的が同じであれば対応できる。時間と費用をかけずに軽やかに活動していく。会員リクルートのターゲットを団塊の世代にする。

以上

第 31 期日本リージョン年次大会 第 1 回準備委員会　報告

by Kaori Shimizu

日時：2012 年 9 月 24 日(月) 11:30～15:00

会場：東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート 2F 真砂

ようやく暑さの和らぎ始めたこの日、真っ青な秋空のもと、来年 6 月のリージョン年次大会に向けた第 1 回準備委員会が開催されました。既に一部役員により、今年 4 月 23 日に下見会がもたれておりましたが、今回は、山内昌子コーディネーターを筆頭に、小菅あけみ日本リージョン会長、柴田ひさカウンスル No. 8 会長、並びに各準備委員長ら、総勢 28 名が出席した、本格的な準備の始動となりました。

主な内容は、11:30 ホテル会場下見と確認、12:30 昼食試食と批評、13:30 会合（会長・各委員長の挨拶、仕事内容の確認、予算の説明と確認、コーディネーターからの連絡、ホテル担当者への要望確認）でした。盛りだくさんの内容ながら、コーディネーターの的確な旗振りのお陰で、議事もスムーズに運び、あっという間に会は終了。委員会によっては、終了後も、個別に集まって打ち合わせをしていたところもありました。

第 2 回会合は 12 月 4 日（火）開催予定です。

お天気の日にはホテル北側にスカイツリーが！

南側にはベイブリッジ。

今後の予定

2012 年 10 月 29 日(月)	第 1 回カウンスル会合	(女性就業支援センター)
2013 年 4 月 6 日(土)	第 2 回カウンスル会合	(女性就業支援センター)
2013 年 6 月 3～5 日	リージョン大会	（東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート）

なんと言っても、今期最大の大仕事は、リージョン大会主催です。カウンスル No. 8 全メンバーで協力して、このビッグイベントを是非成功させましょう！

編集後記

第２３期カウンスル No.８

この度、初めて編集を担当することになり、前任者の方々の苦労を身にしみて感じております。1 ページ作るにも、レイアウトからフォントまで、様々なところに気配りが必要とは・・・。ただ、メンバーの明るさとユーモアで乗り切っています。紙面からも、それが伝わるでしょうか？

ウェブサイト・編集委員

清水香、松岡美保、小倉久美子